

# 資 料

令和5年度 第2回 郡山市廃棄物減量等推進審議会

令和5(2023)年10月26日

郡山市環境部3R推進課

## 目 次

### 3 議事 資料

(1) 廃棄物搬入料金について ..... 1ページ

(2) 郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂 ..... 13ページ

# (1) 廃棄物搬入料金について



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 1 これまでの審議状況の整理

### (1) これまでの諮問と答申の状況

- 平成29(2017)年7月 諮問「郡山市一般廃棄物処理基本計画の策定について」
- 平成30(2018)年1月 答申「生活系及び事業系可燃ごみの減量・資源化への取り組みの推進を図ること」、「循環型社会実現のため、生活系ごみの適正負担の推進について検討すること」等
- 令和元(2019)年5月 諮問「ごみ減量化推進のための生活系ごみ処理費用の適正負担について」(別紙1)  
⇒審議を重ね、令和元年10月に中間答申をする予定だったが、10月12日の東日本台風の被害により中止となった。
- 令和2(2020)年11月 中間答申「粗大ごみの処理費用の有料化を早期に導入」「引き続き、本市にとってふさわしい生活系ごみ全体の処理手数料の適正負担の在り方について、2年程度をかけて最終的な答申とするべく審議を重ねる」(別紙2)

### (2) 中間答申後の状況

粗大ごみの有料化実施に向け検討を進めている中、新型コロナウイルス感染症まん延や電気料金の値上げ等による物価高騰により経済状況が停滞したため、現段階では市民へ追加負担を求める施策は実施できないという結論に達し、導入には至っていない。

(令和4(2022)年9月定例会答弁)

「ごみ処理費用の適正な負担について(福田文子議員)」

「ごみ処理の有料化について(名木敬一議員)」

⇒負担の公平性などを理解いただくことが、今大事な時期(市長)

⇒ごみ処理費用の適正化を含め、ごみ減量等に有効な施策を多角的に検討する(環境部長)

### (3) 今後の審議について

令和元年5月の諮問「ごみ減量化推進のための生活系ごみ処理費用の適正負担について」の最終答申をまとめるべく、審議を続けていく。その審議の一環として、クリーンセンターへごみを搬入する際の、適正な廃棄物搬入料金について審議をする。

# (1) 廃棄物搬入料金について



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 2 各自治体の受け入れ状況

(1) こおりやま広域連携中枢都市圏内の状況(粗大ごみを除く)

生活系一般廃棄物は、郡山市を含めた収集料金無料の自治体は、ごみの量が多い傾向にあります。事業系一般廃棄物について、郡山市の排出量は突出して多くなっています。

	生活系一般廃棄物			事業系一般廃棄物	
	自己搬入料金	1人1日当たり排出量	収集料金	自己搬入料金	1人1日当たり排出量
郡山市	55円/10kg(申請により無料)	767g	無料	110円/10kg	416g
二本松市	無料 130円/10kg(畳・布団・マットレス)	686g	無料(指定袋)	130円/10kg 260円/10kg(畳・布団・マットレス)	175g
本宮市		718g			183g
大玉村		700g			128g
三春町	50円/10kg	768g	有料	100円/10kg(田村西部環境センター) 150円/10kg(三春町清掃センター)	223g
田村市	50円/10kg(有料袋に入れて無料)	625g	有料	100円/10kg	237g
小野町		615g			239g
石川町	有料袋に入れて排出 (搬入料金は無料)	649g	有料	50kgまで410円 以降10kgごとに82円を加算	207g
玉川村		575g			210g
平田村		530g			264g
浅川町		678g			201g
古殿町		587g			198g
須賀川市	受け入れていない	754g	無料	100円/10kg	201g
鏡石町		734g			156g
天栄村		776g			216g
猪苗代町	無料	790g	無料	燃やせるもの 80円/10kg 燃やせないもの 170円/10kg	358g
磐梯町		784g			540g

# (1) 廃棄物搬入料金について



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 2 各自治体の受け入れ状況

(2) 周辺の主な都市の状況(こおりやま広域圏以外)(粗大ごみを除く)

福島県内の主な市と、周辺にある主な市をピックアップして集計しました。一般的に、福島県内の自己搬入料金は安く、ごみの量が多い傾向にあります。

	生活系一般廃棄物			事業系一般廃棄物	
	自己搬入料金	1人1日当たり 排出量	収集料金	自己搬入料金	1人1日当たり 排出量
郡山市	55円/10kg(申請により無料)	767g	無料	110円/10kg	416g
福島市	無料	789g	無料	100円/10kg	301g
いわき市	100円/10kg	739g	無料(指定袋)	100円/10kg	288g
会津若松市	無料	791g	無料	燃やせるもの 80円/10kg 燃やせないもの 170円/10kg	310g
伊達市	無料	860g	無料(指定袋)	130円/10kg	324g
白河市	可燃 80円/10kg、不燃 90円/10kg	697g	有料	可燃 95円/10kg、不燃 110円/10kg	321g
盛岡市	50円/10kg(200kg未満無料)	626g	無料	100円/10kg	342g
山形市	140円/10kg	682g	有料	140円/10kg	240g
米沢市	180円/10kg	605g	有料	180円/10kg	329g
白石市	130円/10kg	680g	有料	130円/10kg	296g
宇都宮市	無料	735g	無料	再生可能な紙類・布類 37円/10kg その他 226円/10kg	206g
水戸市	130円/10kg	672g	有料	130円/10kg	324g
前橋市	180円/10kg(200kgまで無料)	739g	無料(指定袋)	180円/10kg	178g
高崎市	165円/10kg(100kgまで無料)	697g	無料	165円/10kg(100kgまで無料)	235g
川越市	50円/10kg(40kg以下の場合無料)	641g	無料	220円/10kg	185g
川口市	100円/10kg	627g	無料	220円/10kg	187g
八王子市	350円/10kg	639g	有料	350円/10kg	110g

# (1) 廃棄物搬入料金について



SDGsターゲット12.5  
「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 2 各自治体の受け入れ状況 (生活系一般廃棄物、収集料金は粗大ごみを除く、重量は令和3年度1人1日当たり、順位は県内13市中)

(1) こおりやま広域連携中枢都市圏の状況

- 会津若松地方広域市町村圏整備組合
  - ・収集料金 無料
  - ・搬入料金 無料
  - ・生活系一般廃棄物排出量
    - 磐梯町 784g
    - 猪苗代町 790g

(その他:会津若松市、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町)

- 安達地方広域行政組合
  - ・収集料金 無料(指定袋)
  - ・搬入料金 無料、130円/10kg
  - ・生活系一般廃棄物排出量
    - 二本松市 686g(2位/13市)
    - 本宮市 718g(4位/13市)
    - 大玉村 700g

- 三春町
  - ・収集料金 有料
  - ・搬入料金 50円/10kg
  - ・生活系一般廃棄物排出量 768g

- 田村市、小野町
  - ・収集料金 有料
  - ・搬入料金 50円/10kg
  - ・生活系一般廃棄物排出量
    - 田村市 625g(1位/13市)
    - 小野町 615g

- 石川地方生活環境施設組合
  - ・収集料金 有料
  - ・搬入料金 有料袋に入れ搬入
  - ・生活系一般廃棄物排出量
    - 石川町 649g
    - 玉川村 575g
    - 平田村 530g
    - 浅川町 678g
    - 古殿町 587g

- 郡山市
  - ・収集料金 無料
  - ・搬入料金 55円/10kg (申請により無料)
  - ・生活系一般廃棄物排出量 767g(8位/13市)

- 須賀川地方保健環境組合
  - ・収集料金 無料
  - ・搬入料金 受け入れ無し
  - ・生活系一般廃棄物排出量
    - 須賀川市 754g(7位/13市)
    - 鏡石町 734g
    - 天栄村 776g

(2) 県内の主な都市や組合の状況(広域圏以外)

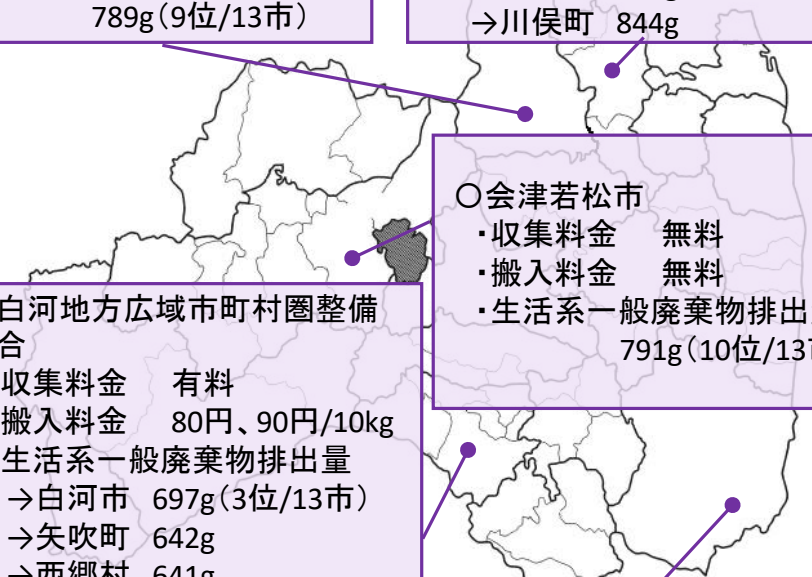
- 福島市
  - ・収集料金 無料
  - ・搬入料金 無料
  - ・生活系一般廃棄物排出量 789g(9位/13市)

- 伊達地方衛生処理組合
  - ・収集料金 無料(指定袋)
  - ・搬入料金 無料
  - ・生活系一般廃棄物排出量
    - 伊達市 860g(12位/13市)
    - 桑折町 871g
    - 国見町 887g
    - 川俣町 844g

- 会津若松市
  - ・収集料金 無料
  - ・搬入料金 無料
  - ・生活系一般廃棄物排出量 791g(10位/13市)

- 白河地方広域市町村圏整備組合
  - ・収集料金 有料
  - ・搬入料金 80円、90円/10kg
  - ・生活系一般廃棄物排出量
    - 白河市 697g(3位/13市)
    - 矢吹町 642g
    - 西郷村 641g
    - 泉崎村 595g
    - 中島村 604g
    - 棚倉町 715g
    - 矢祭町 731g
    - 塙町 708g
    - 鮫川村 610g

- いわき市
  - ・収集料金 無料(指定袋)
  - ・搬入料金 100円/10kg
  - ・生活系一般廃棄物排出量 739g(6位/13市)

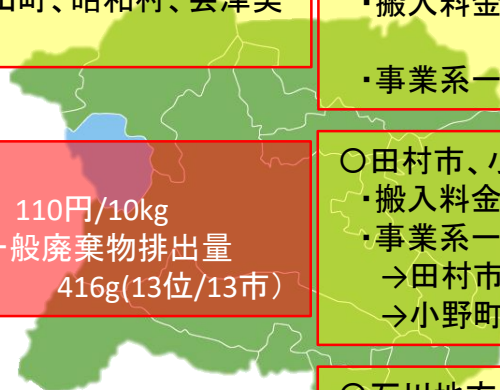




# (1) 廃棄物搬入料金について

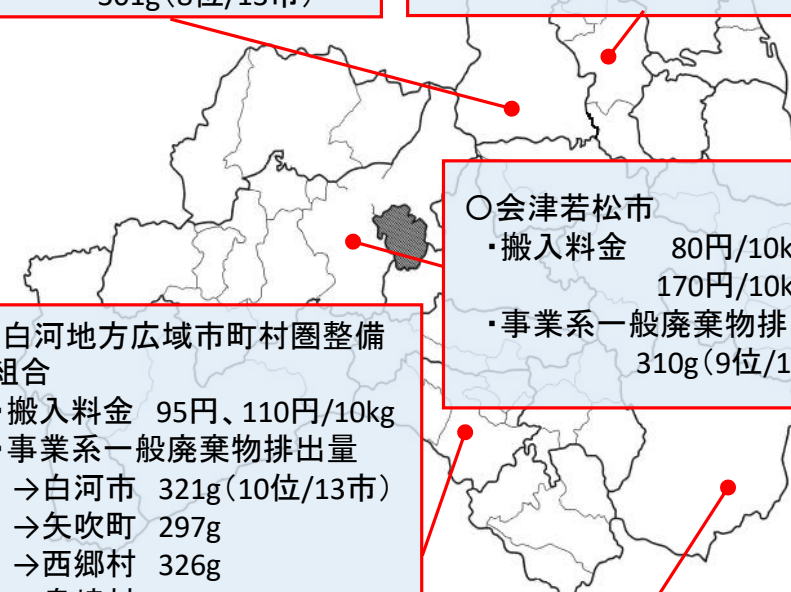
## 2 各自治体の受け入れ状況(事業系一般廃棄物、クリーンセンターへの搬入料金、重量は令和3年度1人1日当たり、順位は県内13市中)

### (1) こおりやま広域連携中枢都市圏の状況



- 会津若松地方広域市町村圏整備組合
  - ・搬入料金 80円/10kg  
170円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量
    - 磐梯町 540g
    - 猪苗代町 358g
  - (その他:会津若松市、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町)
- 安達地方広域行政組合
  - ・搬入料金 130円/10kg  
260円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量
    - 二本松市 175g(1位/13市)
    - 本宮市 183g(2位/13市)
    - 大玉村 128g
- 三春町
  - ・搬入料金 100円/10kg  
150円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量 223g
- 郡山市
  - ・搬入料金 110円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量 416g(13位/13市)
- 田村市、小野町
  - ・搬入料金 100円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量
    - 田村市 237g(5位/13市)
    - 小野町 239g
- 石川地方生活環境施設組合
  - ・搬入料金 50kgまで410円  
以降82円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量
    - 石川町 207g
    - 玉川村 210g
    - 平田村 264g
    - 浅川町 201g
    - 古殿町 198g
- 須賀川地方保健環境組合
  - ・搬入料金 100円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量
    - 須賀川市 201g(4位/13市)
    - 鏡石町 156g
    - 天栄村 216g

### (2) 県内の主な都市や組合の状況(広域圏以外)



- 福島市
  - ・搬入料金 100円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量 301g(8位/13市)
- 伊達地方衛生処理組合
  - ・搬入料金 130円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量
    - 伊達市 324g(11位/13市)
    - 桑折町 375g
    - 国見町 343g
    - 川俣町 412g
- 会津若松市
  - ・搬入料金 80円/10kg  
170円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量 310g(9位/13市)
- 白河地方広域市町村圏整備組合
  - ・搬入料金 95円、110円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量
    - 白河市 321g(10位/13市)
    - 矢吹町 297g
    - 西郷村 326g
    - 泉崎村 304g
    - 中島村 123g
    - 棚倉町 264g
    - 矢祭町 188g
    - 塙町 198g
    - 鮫川村 120g
- いわき市
  - ・搬入料金 100円/10kg
  - ・事業系一般廃棄物排出量 288g(7位/13市)

# (1) 廃棄物搬入料金について



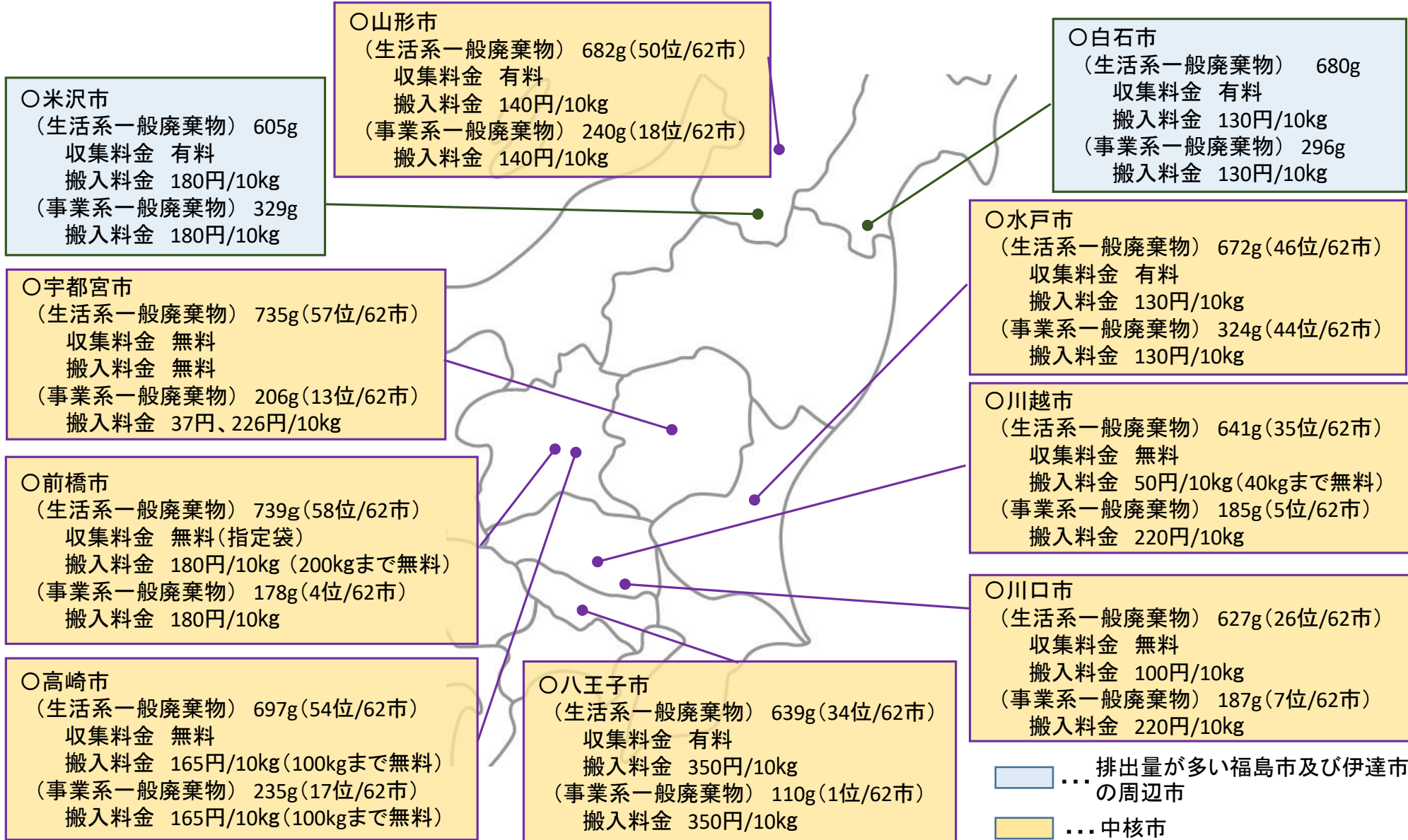
SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 2 各自治体の受け入れ状況 (重量は令和3年度1人1日当たり、粗大ごみを除く、順位は中核市62市中)



# (1) 廃棄物搬入料金について



SDGsターゲット12.5  
「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 3 料金と排出量の関係

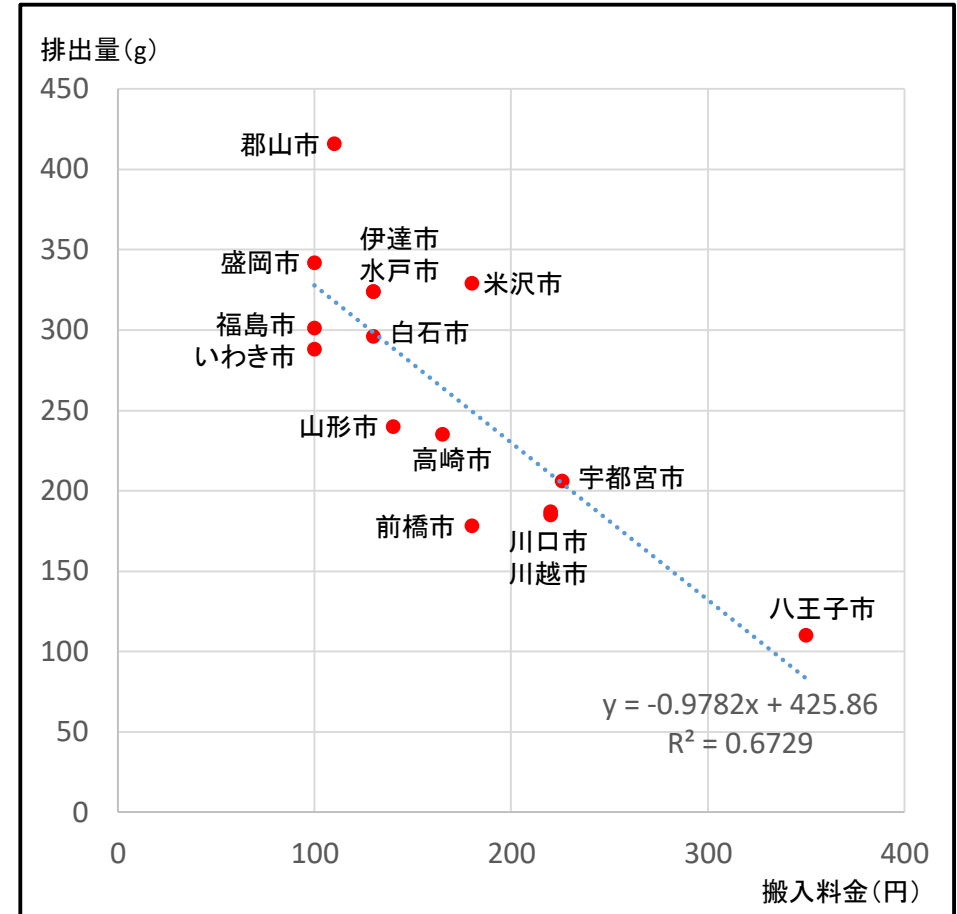
### (1) 生活系一般廃棄物の処理料金と排出量の関係

下表の比較は、生活系一般廃棄物の処理の中心となる、収集によるごみ処理の状況です。有料化をしている自治体としていない自治体のごみ量を比べると、平均値で約65gの差があることから、料金の賦課がごみの排出量減少に影響を与えていることがうかがえます。

	自治体名	生活系排出量	平均
収集の有料化をしている自治体	白河市	697g	662.5g
	山形市	682g	
	米沢市	605g	
	白石市	680g	
	水戸市	672g	
	八王子市	639g	
収集無料の自治体	郡山市	767g	728.3g
	福島市	789g	
	いわき市	739g	
	伊達市	860g	
	前橋市	739g	
	会津若松市	791g	
	盛岡市	626g	
	宇都宮市	735g	
	高崎市	697g	
	川越市	641g	
	川口市	627g	

### (2) 事業系一般廃棄物の処理料金と排出量の関係

搬入料金と排出量の関係をグラフに表すと、搬入料金が高い自治体ほど、排出量が少ないことがうかがえます。



会津若松市と白河市は、品目によって搬入料金が違うため、この表からは除外した



# (1) 廃棄物搬入料金について



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 4 一般廃棄物搬入料金見直しの検討

### (1) クリーンセンターへごみを搬入する際の料金について

郡山市の廃棄物搬入料金(生活系50円/10kg、事業系100円/10kgに消費税相当額を加算)は、平成7(1995)年に変更して以来変わっていません。他自治体の状況を見ると、県内では同等程度の自治体が見受けられますが、県外同規模の自治体と比べると安くなっています。適正な処理料金に見直し、併せてごみの減量につなげていきます。

### (2) 郡山市における適正な処理料金の検討

適正な処理料金算出のため、ごみ処理にどのぐらいの金額がかかっているかを確認する必要がありますが、令和元(2019)年度から令和3(2021)年度までの、ごみ処理にかかった費用は以下のとおりです。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳入(※1)	774,663,696円	656,225,387円	803,555,279円
歳出(※2)	2,963,735,650円	2,876,189,847円	2,861,335,290円
歳出－歳入	2,189,071,954円	2,219,964,460円	2,057,780,011円
クリーンセンターで処理したごみ量	134,780.16t	136,095.21t	134,876.45t
ごみ1トン当たり処理料	16,242円	16,312円	15,257円

処理料平均	15,937円/トン
≒	160円/10kg

※1 ごみ処理手数料、売電収入など

※2 収集運搬費、クリーンセンター維持管理費、埋立処分費など

### (3) 生活系及び事業系の一般廃棄物搬入料金の見直し案について

**新たな搬入料金を、160円/10kgとしたい。**

また、これまでは生活系と事業系に価格差をつけていましたが、市民が無料で搬入できる措置を併せて導入することにより、生活系と事業系の価格差をなくして同一料金とします。また、改定によるメリット(ごみ減量による最終処分場の延命、搬入時の渋滞緩和など)についてまとめ、市民に発信できるようにします。

	～平成7年9月30日	平成7年10月1日～	改定案
搬入料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却処分及び破碎処分に係るもの 30円/10kg</li> <li>・埋め立て処分に係るもの 20円/10kg</li> <li>(それぞれの金額に消費税相当額を加算)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭廃棄物 50円/10kg</li> <li>・事業系一般廃棄物 100円/10kg</li> <li>(それぞれの金額に消費税相当額を加算)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全て160円/10kg</li> <li>(消費税相当額加算後の料金)</li> </ul>

# (1) 廃棄物処理料金について



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 参考資料: 県内の中核市及び郡山市周辺自治体の排出状況 (排出量は令和3年度)

市町村等名	生活系一般廃棄物			
	収集(指定袋)	粗大ごみ	自己搬入(料金)	備考
●郡山市	無料(なし)	無料	可(55円/10kg)	1人1日当たり排出量 767g 県内市順位 8位/13市中 中核市順位 61位/62市中
●福島市	無料(なし)	無料	可(無料)	1人1日当たり排出量 789g 県内市順位 9位/13市中 中核市順位 62位/62市中
●いわき市	無料(あり)	有料	可(100円/10kg)	1人1日当たり排出量 739g 県内市順位 6位/13市中 中核市順位 59位/62市中
●田村市	有料(あり)	有料	可(50円/10kg、粗大は100円/10kg)	1人1日当たり排出量 625g 県内市順位 1位/13市中
●三春町	有料(あり)	有料	可(50円/10kg)	1人1日当たり排出量 768g
●須賀川地方保険環境組合 ・須賀川市、鏡石町、天栄村	無料(なし)	無料	可(無料) ※現在は受入停止中	・須賀川市1人1日当たり排出量 754g 県内市順位 7位/13市中 ・鏡石町1人1日当たり排出量 734g
●安達地方広域行政組合 ・二本松市、本宮市、大玉村	無料(あり)	有料	可(無料、畳・布団・マットレスは130円/10kg)	・二本松市1人1日当たり排出量 686g 県内市順位 2位/13市中 ・本宮市1人1日当たり排出量 718g 県内市順位 4位/13市中 ・大玉村1人1日当たり排出量 700g
●会津若松地方広域市町村圏整備組合 ・会津若松市、猪苗代町など	無料(なし)	無料	可(無料)	・会津若松市1人1日当たり排出量 791g 県内市順位 10位/13市中 ・猪苗代町1人1日当たり排出量 790g
●石川地方生活環境施設備組合 ・石川町、平田村、玉川村など	有料(あり)	有料	可(指定袋に入れる)	・石川町1人1日当たり排出量 649g ・平田村1人1日当たり排出量 530g ・玉川村1人1日当たり排出量 575g

# (1) 廃棄物処理料金について



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5  
「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 参考資料：県内の中核市及び郡山市周辺自治体の状況（排出量は令和3年度）

市町村等名	事業系一般廃棄物		あわせ産廃の受入 受入可否(料金)
	受入料金	備考	
●郡山市	110円/10kg	1人1日当たり排出量 416g 県内市順位 13位/13市中 中核市順位 59位/62市中	可 (110円/10kg)
●福島市	100円/10kg	1人1日当たり排出量 301g 県内市順位 8位/13市中 中核市順位 41位/62市中	可 (100円/10kg)
●いわき市	100円/10kg	1人1日当たり排出量 288g 県内市順位 7位/13市中 中核市順位 37位/62市中 ※古紙と木くずは搬入不可	否
●田村市	100円/10kg	1人1日当たり排出量 237g 県内市順位 5位/13市中 ※搬入には事前申請が必要	可だが実績無し (100円/10kg)
●三春町	150円/10kg(※1) 100円/10kg(※2)	1人1日当たり排出量 223g ※搬入には原則として事前申請が必要	否
●須賀川地方保険環境組合 ・須賀川市、鏡石町、天栄村	100円/10kg	・須賀川市1人1日当たり排出量 201g 県内市順位 4位/13市中 ・鏡石町1人1日当たり排出量 156g	否
●安達地方広域行政組合 ・二本松市、本宮市、大玉村	130円/10kg 畳・布団・マットレスは 260円/10kg	・二本松市1人1日当たり排出量 175g 県内市順位 1位/13市中 ・本宮市1人1日当たり排出量 183g 県内市順位 2位/13市中 ・大玉村1人1日当たり排出量 128g	可 (260円/10kg)
●会津若松地方広域市町村圏整備組合 ・会津若松市、猪苗代町など	可燃80円/10kg 不燃170円/10kg	・会津若松市1人1日当たり排出量 310g 県内市順位 9位/13市中 ・猪苗代町1人1日当たり排出量 358g	可 (270円/10kg)
●石川地方生活環境施設備組合 ・石川町、平田村、玉川村など	50kgまで410円 10kgごと82円加算	・石川町1人1日当たり排出量 207g ・平田村1人1日当たり排出量 264g ・玉川村1人1日当たり排出量 210g ※資源物の受入不可	可 (50kgまで410円、 10kgごと82円)

※1 三春町清掃センター ※2 田村西部環境センター

# (1) 廃棄物処理料金について



SDGsターゲット12.5  
「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 参考資料: 周辺中核市の一般廃棄物処理料金 (排出量は令和3年度)

市町村名	生活系一般廃棄物		事業系一般廃棄物	
	受入料金	備考	受入料金	備考
岩手県盛岡市	50円/10kg (200kg未満無料)	1人1日当たり排出量 626g 中核市順位 25位/62市中	100円/10kg	1人1日当たり排出量 342g 中核市順位 51位/62市中
山形県山形市	140円/10kg	1人1日当たり排出量 682g 中核市順位 50位/62市中	140円/10kg	1人1日当たり排出量 240g 中核市順位 18位/62市中
福島県福島市	無料	1人1日当たり排出量 789g 中核市順位 62位/62市中	100円/10kg	1人1日当たり排出量 301g 中核市順位 41位/62市中
福島県郡山市	55円/10kg (申請により無料)	1人1日当たり排出量 767g 中核市順位 61位/62市中	110円/10kg	1人1日当たり排出量 416g 中核市順位 59位/62市中
福島県いわき市	100円/10kg	1人1日当たり排出量 739g 中核市順位 59位/62市中	100円/10kg	1人1日当たり排出量 288g 中核市順位 37位/62市中
茨城県水戸市	130円/10kg	1人1日当たり排出量 672g 中核市順位 46位/62市中	130円/10kg	1人1日当たり排出量 324g 中核市順位 44位/62市中
栃木県宇都宮市	無料	1人1日当たり排出量 735g 中核市順位 57位/62市中	(紙・布)37円/10kg (それ以外)226円/kg	1人1日当たり排出量 206g 中核市順位 13位/62市中
埼玉県川越市	50円/10kg (40kg以下無料)	1人1日当たり排出量 641g 中核市順位 35位/62市中	220円/10kg	1人1日当たり排出量 185g 中核市順位 5位/62市中
埼玉県川口市	100円/10kg	1人1日当たり排出量 627g 中核市順位 26位/62市中	100円/10kg	1人1日当たり排出量 187g 中核市順位 7位/62市中
群馬県前橋市	180円/10kg (200kg以下無料)	1人1日当たり排出量 739g 中核市順位 58位/62市中	180円/10kg	1人1日当たり排出量 178g 中核市順位 4位/62市中
群馬県高崎市	165円/10kg (200kg以下無料)	1人1日当たり排出量 697g 中核市順位 54位/62市中	165円/10kg (100kgまで無料)	1人1日当たり排出量 235g 中核市順位 17位/62市中
東京都八王子市	350円/10kg	1人1日当たり排出量 639g 中核市順位 34位/62市中	350円/10kg	1人1日当たり排出量 110g 中核市順位 1位/62市中

# (1) 廃棄物処理料金について



SDGs未来都市こおりやま



12 つくる責任  
つかう責任

SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

## 参考資料: 全国中核市の排出状況 (排出量は令和3年度、量の単位はg/1人・1日)

自治体名	合計量	順位	事業系	順位	生活系	順位	
東京都	八王子市	748	1	110	1	639	34
愛媛県	松山市	761	2	157	3	604	17
大阪府	枚方市	780	3	198	11	583	8
滋賀県	大津市	804	4	189	8	615	23
大阪府	豊中市	808	5	255	23	553	6
大阪府	八尾市	809	6	213	14	596	13
奈良県	奈良市	813	7	234	16	579	7
埼玉県	川口市	814	8	187	7	627	26
大阪府	吹田市	816	9	231	15	585	9
埼玉県	越谷市	823	10	189	9	634	30
大阪府	寝屋川市	826	11	192	10	634	31
埼玉県	川越市	826	12	185	5	641	35
沖縄県	那覇市	837	13	243	19	594	12
愛知県	一宮市	842	14	186	6	656	41
千葉県	船橋市	849	15	205	12	645	36
千葉県	柏市	860	16	249	20	611	21
神奈川県	横須賀市	867	17	156	2	711	55
香川県	高松市	871	18	328	45	543	5
兵庫県	尼崎市	871	19	277	31	594	11
大阪府	高槻市	873	20	259	24	614	22
兵庫県	明石市	877	21	268	25	608	19
長野県	長野市	888	22	280	34	608	18
福岡県	久留米市	888	23	284	36	604	16
福井県	福井市	894	24	275	29	619	24
石川県	金沢市	900	25	358	54	542	4
和歌山県	和歌山市	902	26	254	22	648	38
愛知県	豊橋市	908	27	277	32	631	27
兵庫県	姫路市	913	28	281	35	632	29
兵庫県	西宮市	915	29	318	43	597	14
群馬県	前橋市	917	30	178	4	739	58
広島県	福山市	917	31	329	46	588	10
岐阜県	岐阜市	922	32	268	26	653	40

自治体名	合計量	順位	事業系	順位	生活系	順位	
山形県	山形市	923	33	240	18	682	50
愛知県	岡崎市	925	34	273	28	652	39
鹿児島県	鹿児島市	928	35	296	40	631	28
大分県	大分市	932	36	275	30	656	43
群馬県	高崎市	932	37	235	17	697	54
栃木県	宇都宮市	941	38	206	13	735	57
宮崎県	宮崎市	942	39	253	21	689	52
北海道	旭川市	949	40	292	38	657	44
長崎県	長崎市	951	41	272	27	679	48
広島県	呉市	951	42	278	33	673	47
愛知県	豊田市	953	43	296	39	656	42
岩手県	盛岡市	968	44	342	51	626	25
長崎県	佐世保市	969	45	442	60	527	1
青森県	八戸市	980	46	334	48	646	37
秋田県	秋田市	983	47	348	53	635	33
鳥取県	鳥取市	989	48	458	61	531	3
長野県	松本市	991	49	463	62	528	2
茨城県	水戸市	996	50	324	44	672	46
山口県	下関市	1,002	51	402	57	599	15
大阪府	東大阪市	1,005	52	396	56	609	20
高知県	高知市	1,006	53	346	52	660	45
島根県	松江市	1,011	54	330	47	681	49
青森県	青森市	1,023	55	338	49	685	51
福島県	いわき市	1,028	56	288	37	739	59
富山県	富山市	1,031	57	338	50	693	53
山梨県	甲府市	1,033	58	317	42	716	56
岡山県	倉敷市	1,046	59	412	58	634	32
福島県	福島市	1,091	60	301	41	789	62
北海道	函館市	1,121	61	381	55	740	60
福島県	郡山市	1,183	62	416	59	767	61
中核市平均		921	—	282	—	639	—



## (2) 郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

### 1 改訂の趣旨

2018年に策定した「郡山市一般廃棄物処理基本計画」の計画期間は10年とされていますが、概ね5年に1度改訂することとしております。今回の改訂は、これによるものです。

今回の改訂に当たっては、重点施策や目標値など、計画の基本部分の変更は行いません。2018年の計画策定後の新たな国の動向や発表された情報、本市の取り組みなどを踏まえ、変化のある部分について改訂・追記するとともに、制定が努力義務とされた「食品ロス削減に係る計画」を追加いたしました。

### 2 凡例

2018年に策定した計画を「旧計画」、今回改訂する計画を「新計画」とします。

## (2) 郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

### 3 変更点について

旧計画		新計画	
計画策定の趣旨	P0	第1章 本計画の目的 1 計画策定の趣旨  [解説] 取組内容を世界、国、本市に分け、内容を現状に合わせて更新しました。	P1 から
第1章 一般廃棄物処理基本計画の概要 第1節 本計画の目的と位置づけ 第2節 計画対象区域 第3節 計画目標年度 第4節 計画区域内人口	P1 から	2 計画の位置づけ 3 計画対象区域 4 目標年度  [解説] 説明文の表現を現状に合わせて見直すとともに、旧計画に記載の表を法律との関係性が分かるようにしました。また、新たに策定する「郡山市食品ロス削減計画」を新計画の中に盛り込むことを明記しました。 旧計画第4節「計画区域内人口」は、新計画P5にある「5 計画対象区域内の人口とその動向」に記載があるので、省略しました。	P3 から
第2章 郡山市の概況 第1節 地理的、地形的、気候的特性	P3 から	項目なし  [解説] 大きな変化はないと思われるので、次回策定時に作成することとし、省略しました。	
第2節 人口動態・分布	P8 から	5 計画対象区域内の人口とその動向  [解説] 旧計画策定後の情報を追加し更新しました。	P5 から

## (2) 郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂

### 3 変更点について

旧計画		新計画	
第3節 産業の動向	P11 から	6 産業の動向  [解説] 産業別就業人口のみ更新しました。各論(農業・工業・商業)は次回策定時に作成することとし、省略しました。	P8 から
第4節 土地利用の状況 第5節 交通の状況	P16 から	項目なし  [解説] 大きな変化はないと思われるので、次回策定時に作成することとし、省略しました。	
第3章 ごみ処理基本計画 第1節 ごみ処理の現況と評価 1 ごみ処理の体系 2 収集区分 3 廃棄物処理手数料	P19 から	第2章 ごみ処理の現況評価とごみ処理基本計画 1 ごみ処理の体系  [解説] 変更はありませんが、処理体系がわかりやすいよう「処理施設別」「品目別」に図を追加しました。 旧計画「2 収集区分」については、収集人口以外には変更点がないので省略しました。 旧計画「3 廃棄物処理手数料」は、新計画「1 ごみ処理の体系」に併せて記載しました。	P10 から

## (2) 郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

### 3 変更点について

旧計画		新計画	
第2節 中間処理の現況 1 熱処理施設の現況 2 中間処理施設の現況 3 最終処分の現況 4 郡山市内清掃施設位置図 5 ごみ処理の現況評価及び問題点	P21 から	2 中間処理の現況 3 最終処分の現況 4 ごみ処理経費の推移  【解説】 旧計画「1 熱処理施設の現況」「2 中間処理施設の現況」をまとめて、新計画では「2 中間処理の現況」としました。 発電実績、再資源化率などのデータを更新しました。 新計画に「4 ごみ処理経費の推移」を追加し、処理費用について記載しました。	P13 から
第3節 ごみ処理基本計画の検討 1 計画の基本理念及び基本方針 (1)基本理念及び基本方針	P30 から	第3章 ごみ処理基本計画の見直し 1 計画の基本理念及び基本方針  【解説】 これまでの方針に加え、サーキュラーエコノミーの概念を追記しました。	P20 から
(2)計画目標年度 (3)計画区域 (4)策定指針及び関係法令・通知等	P31 から	2 計画目標年度 3 計画対象区域  【解説】 変更点はありません。 旧計画(4)は、基本計画の中の各項目で必要に応じて記載があるため省略しました。	P22 から

## (2) 郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂



SDGs未来都市こおりやま



SDGsターゲット12.5

「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

### 3 変更点について

旧計画		新計画	
2 ごみ発生量の将来予測	P32 から	4 ごみ発生量の将来予測  [解説] 旧計画と考え方は同じですが、表を分かりやすくし、旧計画策定後の情報を追加し更新するとともに、データを追記しました。	P23 から
3 収集・運搬計画の検討	P54 から	5 収集運搬計画  [解説] 変更点はありませんが、必要な項目と判断し掲載しました。	P42 から
4 中間処理計画の検討 (1)焼却処理計画 (2)粗大ごみ・不燃ごみ破碎・選別処理計画 (3)資源ごみ再資源化処理計画	P55 から	6 中間処理計画  [解説] 旧計画策定後の情報を追加し更新しました。	P43 から
(4)資源化・減量化・減容化計画の検討	P58 から	7 ごみの排出量及び再生利用率の目標  [解説] 目標値の見直しは新たな一般廃棄物処理基本計画策定(2027年度以降)の際に行うこととし、2027年度の最終目標の値は変えないこととします。 旧計画P59～60の重点施策は、次の第4章と内容がかぶるため省略しました。	P46 から
5 最終処分計画の検討	P61	項目なし  [解説] 旧計画に記載の内容は河内埋立処分場第4期拡張工事のことで、同工事が令和4年度で終了していることから、削除しました。	



## (2) 郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂

### 3 変更点について

旧計画		新計画	
6 災害廃棄物処理計画の検討	P62	項目なし  【解説】 災害廃棄物処理計画は令和4年1月に策定済みのため削除しました。	
第4節 ごみ処理基本計画 1 ごみ処理基本計画の体系	P63 から	第4章 ごみ処理にかかる重点施策 1 重点施策の詳細  【解説】 重点施策とその詳細については変更ありません。その他、表現を一部見直しました。 新計画のP55以降の「市民の役割の具体例」以降に加筆しました。 ☆加筆内容(ページ数は新計画のもの) P55 ・「3きり運動の推進」(旧計画では「水切り運動の実施」と記載) ・「ワンウェイプラスチック製品の辞退」 ・「⇒ インターネットによる個人間取引等を利用し、リユースの推進、ごみの減量を推進しましょう。」 ・「フードドライブの利用」 P56 ・「「てまえどり」運動」 ・「ワンウェイプラスチック製品の利用削減」 P57 ・「⇒ 市民に分かりやすい分別の啓発方法について研究」  なお、旧計画P73の「最終処分場の整備、運営の充実」は、河内埋立処分場の拡張工事が終了しているので削除しました。	P48 から

## (2) 郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂



SDGsターゲット12.5  
「廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

### 3 変更点について

旧計画		新計画	
2 ごみ処理基本計画	P75 から	2 ごみ処理基本計画  【解説】 最終年度である2027年度の目標値は変えていません。2022年度から2026年度の目標値は、2021年度の実績値と2027年度の目標値を直線に結び得た値を採用しました。 その他、表現を現状に合わせて見直しました。	P63 から
項目なし		第5章 食品ロス削減にかかる計画及び施策  【解説】 初めて策定する計画となります。 2019年10月に施行された「食品ロスの削減に関する法律」に基づき、2020年3月に閣議決定された「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」では、市町村が食品ロス削減推進計画を定めるよう努めるとされ、これを受けて定めるものです。ごみ減量に資する食品ロスの削減は、本基本計画の重点施策にも合致することから、新計画に組み込むこととしました。 市町村の計画は、国の方針と都道府県の計画を踏まえて定めるよう努めなければならないとされていることから、本計画は、特に数値目標の部分で「福島県食品ロス削減推進計画」に沿った形で作成しています。	P65 から
第4章 生活排水処理基本計画	P77 から	第6章 生活排水処理基本計画  【解説】 旧計画策定後の情報を追加し更新しました。 衛生処理センターに係るもの（し尿と浄化槽汚泥の処理）以外は上下水道局の事務であるため、「郡山市上下水道局ビジョン」などからの引用や、聞き取りで作成しています。	P75 から